

Course number		G-LAS13 80001 LB90						
Course title (and course title in English)		医薬品の開発と評価 Drug Development, Evaluation and Regulatory Sciences			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Medicine Professor,KAWAKAMI, KOJI	
Group		Interdisciplinary Graduate Courses		Field(Classification)		Health and Medicine		
Language of instruction		Japanese and English		Old group		Number of credits		1
Hours		15	Class style		Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters 2024・Intensive, Second semester	
Days and periods		Intensive Wednesdays in November 20-January 22		Target year		Graduate students		Eligible students For all majors
(Students of Graduate School of Medicine, Graduate School of Advanced Integrated Studies in Human Survivability cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)								
[Overview and purpose of the course]								
<p>(科目責任者) 川上浩司 (薬剤疫学・教授)、白沢博満 (MSD株式会社・副社長)、堀井郁夫 (英国ケンブリッジ大学・客員教授)、佐藤泉美 (薬剤疫学・特定助教)、Christian Elze (Catenion社・シニアパートナー)、大西佳恵 (CreativCeutical社・日本代表)、中山諒 (財務省主計局)、漆原尚巳 (慶應義塾大学・教授)</p> <p>本コースは医学研究科社会健康医学系専攻の選択科目の一つです。 「医薬政策・行政」に引き続いて、医薬品、バイオ医薬品、医療機器の研究開発の過程について、前臨床研究、試験物の理化学試験と製造、動物を用いた非臨床試験、そして人を対象とした臨床試験、行政当局による承認、薬価の決定(費用対効果)、市販後評価というすべてのステップにおける安全性と有効性、経済性の評価について学びます。また、トランスレーショナルリサーチの実際、製薬産業の国際動向についても学びます。</p> <p>【研究科横断型教育の概要・目的】 医薬品の開発と評価の過程は高度に専門分化しており、毒性学・統計学・疫学・経済学などの専門家が協働して行われています。本授業は、医薬政策・行政に引き続いて、広い視野を持った学生を養成することを目的とします。</p>								
[Course objectives]								
<ul style="list-style-type: none">・ 医薬品、医療機器、生物製剤の開発と評価の基本的考え方、方法論を理解している。・ 費用対効果、薬価とは何かについての基本的考え方、方法論を理解している。・ 薬剤疫学と市販後の基本的考え方、方法論を理解している。								
[Course schedule and contents])								
第1回 11月20日 グローバル製薬企業の動向と開発薬事 (白沢)								
第2回 11月27日 医薬品の創製、毒性と安全性 (堀井)								
第3回 12月4日 薬剤疫学概論 (佐藤)								
第4回 12月11日 医療リアルワールドデータと医薬品評価 (川上)								
第5回 12月18日 Healthcare Systems - Challenges and Reform(Elze)								
第6回 12月25日 医薬経済概論：費用対効果と薬価の考え方 (大西)								
第7回 1月8日 日本の財政状況と医療・福祉 (中山)								
第8回 1月15日 神戸医療産業都市構想の見学								
Continue to 医薬品の開発と評価(2)								

医薬品の開発と評価(2)

第9回 1月22日 市販後調査、市販後臨床試験 (漆原)

[Course requirements]

本コースの前週まで講義が行われるH074「医薬品政策・行政」と連続、一括した内容となっており、原則として通して受講できない方は受け入れ不可とします。

[Evaluation methods and policy]

〔成績評価の方法・観点及び達成度〕
講義の場への参加（50％）、レポート（50％）

[Textbooks]

推奨テキスト
Hartzema, A.C. et al. ed. Pharmacoeconomics: An Introduction 3rd ed., Harvey Whitney., 1998.
安生紗枝子ら. 新薬創製への招待：開発から市販後の監視まで. 共立出版, 2006.
川上浩司編著. 遺伝子医学MOOK別冊 はじめての臨床応用研究. メディカルドゥ社, 2010.

[Study outside of class (preparation and review)]

適宜予習復習を求める。

[Other information (office hours, etc.)]

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。